

高解像度気象シミュレーションとその応用

教授 寺坂 晴夫



[概要]

○日常における気象予測

天気予報は私たちの日々の生活になくてはならないものであり、また豪雨や台風など自然災害の対策にも非常に重要な情報になっています。

○地域に特化した精密気象予測

私たちは、福島県域に特化して気象庁の天気予報よりも詳しい気象情報を県民の皆様提供できるようにする研究を行っています。

研究対象を福島県域に特化することにより、地域のニーズに即した気象情報の提供が可能となります。

[実用化の可能性]

○今後の研究課題

まだ解決しなくてはならない課題はたくさんありますが、着実に研究を進めております。

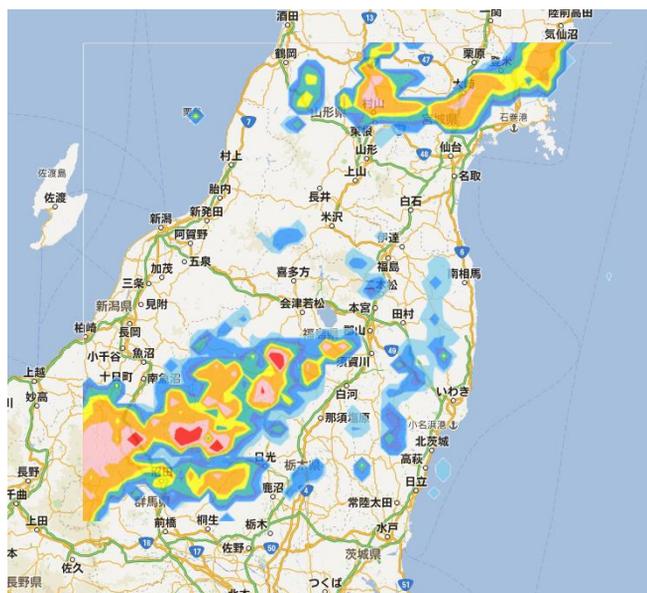
○精密な気象情報を手軽に入手

アメダスデータおよび放射線量のリアルタイムモニタリングと48時間先までの気象予測情報を閲覧できるシステムを開発済みで、フィールドテストの段階に入っています。テストなどにご協力頂ける方はご連絡下さい。

[UBICからのメッセージ]

○気象情報に対するニーズは、自然災害対策をはじめ、農業、流通、小売販売、最近では太陽光発電の供給予測に至るまで、さまざまな領域に渡っています。特に地域の特性に対応した精密な気象情報は、今後ますます需要が増えていくものと予想されます。高解像度の気象シミュレーション技術を使うと、このような多種多様なニーズにタイムリに応えられるシステムを構築することが可能です。

[研究概要図]



高解像度気象シミュレーション



WEBおよび
iPhoneなど
携帯端末から
でも閲覧可能

地域のニーズに即した気象情報を提供